

INFORMATION

No. 1212-24

新規受託のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、新規受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

■検査要項

コード	検査項目名	採取容器	検体量	保存 (安定性)	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 (判断料区分)
2946	結核菌 IFN- γ (ELISPOT法)	I	ヘパリン加 血液 5.0ml	室温 (32時間)	ELISPOT 法	陰性	4日~ 6日	630点※ (免疫学的 判断料)

※区分番号および保険収載名称:「D015 25」「結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能」

◆注意

- ・受託可能日時は、月曜～金曜の午前中です。
- ・他項目との重複依頼は避けてください。検体採取後、当日の午前中にご提出ください。

(裏面参照)

■受託開始期日

平成25年 1月 15日(火) より受託開始

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

■結核菌 IFN- γ (ELISPOT法)

BCGの影響を受けずに結核感染の有無を調べる新しい検査インターフェロン γ 遊離試験(IGRA: Interferon-gamma Release Assays)をELISPOT法にて受託開始いたします。

かつては日本も結核の高蔓延国でしたが、戦後、BCG接種などの結核対策の成果により、死亡者数、死亡率ともに急速に低下しました。しかし世界的にみると、日本は現在でも「結核中蔓延国」です。罹患率は先進諸国と比較すると数倍高く、未だ毎年2万2千人以上の患者が新たに発生しています。

国内の傾向としては、働き盛りの世代の受診の遅れがなかなか改善されていないこと、新規登録患者の半数以上が高齢者で、その割合が年々増加していること、そして、結核に感染しているが無症状の潜在性結核感染症(LTBI: Latent tuberculosis infection)登録患者数も増加していることが報告されています。このLTBI患者は活動性結核に移行する可能性があり、なかでも免疫抑制状態にあるHIV感染者や糖尿病患者、TNF α 阻害薬投薬患者などはリスクが高いとされています。

最近では、結核患者のみならず、LTBIについても、結核感染の早期診断が効果的な結核対策を行う上で重要とされています。

インターフェロン γ 遊離試験(IGRA)は、結核菌に特異的な抗原によってリンパ球を刺激すると産生されるインターフェロン γ (IFN- γ)を指標として結核感染を調べる新しい検査です。このたび、ヨーロッパで広く使われているELISPOT法によるIGRAを受託開始いたします。

IGRAは、BCGの影響を受けないため、ほとんどの成人がBCG接種歴のあるわが国の結核感染の診断補助として期待されている検査です。

◆参考文献

Meier T, et al: European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 24 : 529 ~ 536, 2005 .(検査方法参考文献)

Köller M.D, et al: Clinical & Experimental Immunology 132(2) : 225 ~ 231, 2003 .